



きめの細かい水管理で1等米を目指そう！

水稻栽培は水管理が肝心!!

梅雨入り(6/6)後、晴天続きの日が続いています。長期予報では、6月下旬まで、降水量が少ない状態が続きそうですが、以降は平年と同様に曇りや雨の日が多くなると予想されています。

どのような天候となっても対応出来るよう、適正な水管理で稲の生育を促進しましょう!!

生育中盤までの水管理

- ①活着後は**間断灌水**を心がけましょう！
 - ・ 間断灌水で強い根を育てます。根の健全化で地上部も健全に育ちます。
- ②目標茎数(茎数20本程度)を確保したら、速やかに**中干し**しましょう。
 - ・ 中干しの期間は、天候により異なります。1cm程度のヒビが入るまで継続しましょう！(目安：5~10日程度)
 - ・ **中干しは、确实に行いましょう！**土を締める中干しは、後半の水管理の前準備です。
- ③出穂前3週間~後3週間は、**水を切らさない**ことが理想です！
 - ・ 水分が不足すると、気孔を閉じるため、水分を蒸散できず、稲体の温度が上がり夏バテします。この時期は、足跡や溝に水が残っているうちに入水する「**足かた水灌水**」で、稲体の体力を維持しましょう。

基本を踏まえ天候に応じて柔軟な水管理を

~水管理のイメージ~

